Biwako Yoshi-Fune Project 【びわ湖葦船プロジェクト】

2023

竹生島

葦船作り会場：TSC PARK
（滋賀県高島市今津町今津字上古谷1153番5）

よしぶね 葦船を作って、ちくぶしま 竹生島をめざそう！！

in びわ湖

7/1（土）・2（日）
2日間

琵琶湖岸で刈り取った葦を束ねて組んで、葦船をみんなで作り、
翌日、作った葦船で琵琶湖に浮かぶ竹生島をめざします。
自分たちの手で船を作り、湖へ漕ぎ出すことで
先人たちの知恵や大冒険をみんなで味わえたらと思っています。
この機会にぜひご参加ください！

主催：びわ湖葦船プロジェクト
協力：認定NPO法人TSC、フィッシャーアーキテクト
シノープルハウス、アノヒ写真館、SKYCALL

【1 日目】葦船作りワークショップ

9:00 -16:00　説明＆ 葦船作りワークショップ
［お昼は、シノープルハウスのアジアンランチで旅気分♪］
16:00-18:00　完成したら葦船を琵琶湖に運んで、進水式＆試乗
19:00-21:00　交流会 / 仁さんを囲んでバーベキュー　※希望者のみ

会場：TSC PARK（滋賀県高島市今津町今津字上古谷 1153 番 5）
※JR 近江今津駅より徒歩 10 分

冒険家であり、葦船職人・航海士である
石川仁さんをお招きし、葦船作りの技術と
そこに込められた先住民の知恵を教えて頂き
ながら、みんなで一艘の葦船を作って、
琵琶湖を旅をします！

【 講師：石川仁 / いしかわ じん 】

1967 年生まれ。23 歳の時にサハラ砂漠を単独でラクダと半年間歩いたことが人生の転機となる。その後アラスカ、南米ジャングル、アンデス・チチカカ湖でそれぞれ違う極地で自然と対峙し先住民と暮らす。スペインの探検家キティン・ムニョスを師とし葦船で太平洋、大西洋をクルーとして航海する中で自然に委ねる航海術に魅せられる。自ら船長を務めた日本初の葦船外洋航海をはじめ、現在は葦船でサンフランシスコ湾からハワイ諸島を目指す航海 EXPEDITION AMANA を準備中。

【2 日目】作った葦船で竹生島へ漕ぎ出そう！

9:00　滋賀県高島市入江浜の浜辺に集合。竹生島をめざして葦船で航海スタート
昼頃　竹生島に上陸。参拝＆昼休憩など 1 時間程の自由行動。
16:00 頃　入江浜に帰還予定。片付け、解散

参加費（2 日間）：25,000 円
（税込）

※ 1 日目の昼食代込み
※ 保険代（800 円 /2 日間）は別途ご負担お願いします。
※ びわ湖葦船プロジェクトに今後も協力してくれる意思のある方向けの価格です。
次回の琵琶湖岸での葦刈り（2023年12月）、野焼き（2024年 3 月）にもご参加ください。
※ 今回限りの参加の方は、ゲスト価格 40,000 円（税込）になります。

- 作る葦船は 3-4 人乗りなので、エンジン付きの安全船を並走させ、そこから交代で葦船に乗り込んでみんなで竹生島への航海にチャレンジします。
- 2 日目の航海は、参加者みんな責任を持って、自分達で竹生島を目指すチャレンジであり、仁さんに先導・オーガナイズしていただくものではありません。
- 1 日目は雨天決行。 2 日目の竹生島への航海は、天候次第で延期あり。延期の場合、仁さんは航海に参加できません。第 1 予備日は 7 月 8 日（土）。第 2 予備日は 7 月 9 日（日）。両日とも決行出来なかった場合は残念ながら中止になります。延期・中止の場合も返金は致しませんのでご了承ください。
- 家族の同伴は可能です。葦船作りは無料で見学ができますが、竹生島への航海を見届けたい場合は、各自で琵琶湖汽船などをご利用ください。
- 1 日目の昼食：同伴者で希望の方は大人 1500 円、子ども 1000 円（要予約）
- 1 日目夜の交流会（バーバキュー）は希望者のみ。参加費：大人 2000 円、子ども 1000 円
- 宿泊希望者は、TSC PARK 敷地内でテント泊・車中泊（有料）が可能です。

参加方法：事前予約制　（定員 12 名、先着順）
申し込みフォームからご予約お願いします。
内容詳細は「申し込みフォーム」をご覧ください。　→
問い合わせ先：info@tsc-presents.jp

【びわ湖葦船プロジェクト Biwako Yoshi-Fune Project】とは

琵琶湖岸に生えている葦（ヨシ／アシ）を素材に葦船を作って、琵琶湖を旅することを目指しています。今後も、みんなで古代からの知恵や技術を身につけながら、舟を大きくしたり、帆を立て風を受けて長距離を旅したり、浮島を作ってみたりと発展させていく予定です。
湖岸での冬の葦刈りから、良い葦原を育てていくための初春の野焼き、葦や葦船の移動による種の拡散、そして船が再び土に還っていくところまで、地域の方々とも連携しつつ、自然の循環のなかで持続していく気持ちのいい方法を探っていきたいと考えています。拠点は滋賀県高島市。

びわ湖葦船プロジェクト

Biwako Yoshi-Fune Project
2023

-ご協賛のお願い-

おもしろがることで、文化を繋ぐ。

世界最古の船で挑む、大冒険。

Our Project

2022年12月　葦刈り　@針江浜

針江浜（滋賀県高島市）の葦原は、びわ湖の中でも良い状態が保たれている保護地域に指定されています。
多くの生き物の命を育む生態系として、地域と共に共存しております。この葦を、子供たちと一緒に、手刈りや草刈り機で丁寧に借り出し、どんぶり鉢程度の大きさに束ねていきます。3〜4人乗りの葦船を作るために必要な３０束を集めるのには丸一日かかりましたが、夏の葦船作りのための資材集めと思えば、楽しみながら取り組めます。遊びの中から伝統文化の継承を目指すための最初の一歩です。

2023年1月　冒険家 石川仁講演会 @水鳥観察センター

2024年にサンフランシスコからハワイまでの葦船航海を目指す、冒険家の石川仁さんをお招きして、講演会を開催しました。会場参加とオンライン参加合わせて満員御礼となる50名を超える方々にご参加頂き、世界最古の船である葦船文化についてのお話や、サハラ砂漠やアラスカなど世界各地を冒険された体験談をお話し頂きました。自然と一体となることで身につけた感性についてのお話しから、現代では失いつつある大切なコトに気付かせて頂きました。

2023年3月　葦原の火入れ　@松ノ木内湖

葦も大切な農産物と捉え、刈り取り後の火入れなど手入れの具合によって、丈夫で立派な葦になるかが決まります。火入れには、たくさんの人手や警察や行政への届け出など、大きな労力や危険が伴うことから、実施されない地域も多くあります。今回は、地元住民の皆様にご協力頂き、安曇川にある松ノ木内湖への火入れを行いました。5月には元気な葦が育ってきており、来年の葦船作りに活用できる貴重な資源へと繋がっていきます。

2023年7月　葦船作り & 竹生島チャレンジ

【1日目】葦船作りワークショップ

9:00 -16:00	説明＆葦船作りワークショップ ［お昼は、シノーブルハウスのアジアンランチで旅気分♪］
16:00-18:00	完成したら葦船を琵琶湖に運んで、進水式＆試乗
19:00-21:00	交流会 / 仁さんを囲んでバーベキュー　※希望者のみ

会場：TSC PARK（滋賀県高島市今津町今津字上古谷 1153 番 5）
※JR 近江今津駅より徒歩 10 分

冒険家であり、葦船職人・航海士である石川仁さんをお招きし、葦船作りの技術とそこに込められた先住民の知恵を教えて頂きながら、みんなで一艘の葦船を作って、琵琶湖を旅をします！

【 講師：石川仁 / いしかわ じん 】

1967 年生まれ。23 歳の時にサハラ砂漠を単独でラクダと半年間歩いたことが人生の転機となる。その後アラスカ、南米ジャングル、アンデス・チチカカ湖でそれぞれ違う極地で自然と対峙し先住民と暮らす。スペインの探検家キティン・ムニョスを師とし葦船で太平洋、大西洋をクルーとして航海する中で自然に委ねる航海術に魅せられる。自ら船長を務めた日本初の葦船外洋航海をはじめ、現在は葦船でサンフランシスコ湾からハワイ諸島を目指す航海 EXPEDITION AMANA を準備中。

【2日目】作った葦船で竹生島へ漕ぎ出そう！

9:00	滋賀県高島市入江浜の浜辺に集合。竹生島をめざして葦船で航海スタート
昼頃	竹生島に上陸。参拝＆昼休憩など 1 時間程の自由行動。
16:00 頃	入江浜に帰還予定。片付け、解散

参加費（2 日間）：25,000 円
（税込）

※ 1 日目の昼食代込み
※ 保険代（800 円 /2 日間）は別途ご負担お願いします。
※ びわ湖葦船プロジェクトに今後も協力してくれる意思のある方向けの価格です。
次回の琵琶湖岸での葦刈り（2023年12月）、野焼き（2024年3月）にもご参加ください。
※ 今回限りの参加の方は、ゲスト価格 40,000 円（税込）になります。

- 作る葦船は 3-4 人乗りなので、エンジン付きの安全船を並走させ、そこから交代で葦船に乗り込んでみんなで竹生島への航海にチャレンジします。
- 2 日目の航海は、参加者みんな責任を持って、自分達で竹生島を目指すチャレンジであり、仁さんに先導・オーガナイズしていただくものではありません。
- 1 日目は雨天決行。2 日目の竹生島への航海は、天候次第で延期あり。延期の場合、仁さんは航海に参加できません。第 1 予備日は 7 月 8 日（土）。第 2 予備日は 7 月 9 日（日）。両日とも決行出来なかった場合は残念ながら中止になります。延期・中止の場合も返金は致しませんのでご了承ください。
- 家族の同伴は可能です。葦船作りは無料で見学ができますが、竹生島への航海を見届けたい場合は、各自で琵琶湖汽船などをご利用ください。
- 1 日目の昼食：同伴者で希望の方は大人 1500 円、子ども 1000 円（要予約）
- 1 日目夜の交流会（バーバキュー）は希望者のみ。参加費：大人 2000 円、子ども 1000 円
- 宿泊希望者は、TSC PARK 敷地内でテント泊・車中泊（有料）が可能です。

参加方法：事前予約制　（定員 12 名、先着順）
申し込みフォームからご予約お願いします。
内容詳細は「申し込みフォーム」をご覧ください。　→
問い合わせ先：info@tsc-presents.jp

【びわ湖葦船プロジェクト Biwako Yoshi-Fune Project】とは

琵琶湖岸に生えている葦（ヨシ／アシ）を素材に葦船を作って、琵琶湖を旅することを目指しています。今後も、みんなで古代からの知恵や技術を身につけながら、舟を大きくしたり、帆を立て風を受けて長距離を旅したり、浮島を作ってみたりと発展させていく予定です。
湖岸での冬の葦刈りから、良い葦原を育てていくための初春の野焼き、葦や葦船の移動による種の拡散、そして船が再び土に還っていくところまで、地域の方々とも連携しつつ、自然の循環のなかで持続していく気持ちのいい方法を探っていきたいと考えています。拠点は滋賀県高島市。

個人様向けご協賛メニュー

１口ご支援　／　￥５，０００-

○プロジェクト記録映像のエンドロールにお名前を掲載
○お礼状の送付

応援Tシャツ販売

１枚　／　￥３，５００-

※葦船をモチーフに、
デザイン制作中

地域と自然が共存していく中で守り続けている葦文化のバトンを、次の時代へと繋いでいきたい。
そんな活動を、やらなければならない作業ではなく、おもしろがりながら関われる遊びへと変えることで、
誰でも楽しめる体験活動にすることができれば、ずっと先の時代まで繋がっていくはず。
そんな未来に貢献できれば嬉しく思います。
当日は関われないけど、応援したい。そんな皆さまの温かいご支援が、私たちの活動の力になります。

企業様向けご協賛メニュー

SUPPORT - PLAN
￥３０，０００-

○記録映像のエンドロールに企業名を掲載
○イベント報告書に企業名・ロゴの掲載
○会場に看板設置

BASIC - PLAN
￥５０，０００-

○￥３０，０００-プラン同様
（掲載サイズが大きくなります。）
○SNSでご紹介
○Tシャツ３枚

FLAG - PLAN
￥１００，０００-

○￥５０，０００-プラン同様
（掲載サイズが大きくなります。）
○企業ロゴ入りフラッグを掲げて出向

びわ湖葦船プロジェクト　ご協賛申込書

お申込日	令和　　年　　月　　日
フリガナ	
お名前 or 会社名	
ご担当者様 （企業様用）	
ご住所 ※お礼状、報告書など 郵送ご希望の場合	〒
メールアドレス	
お電話番号	

企業様の掲載ロゴをこちらのメールアドレスまでご送付をお願いします。　info@tsc-presents.jp

個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律および関係法令等の規定を遵守し取り扱います。

びわ湖葦船プロジェクト実行委員会

Biwako Yoshi-Fune Project　2023